

特集

# 夏のエコ生活

毎年日本では、1000億kWhもの電力が消費され、世界で3番目に電気を使っている国として位置づけられています。電気は、私たちの生活に欠くことのできない大切な存在です。2011年に発生した東日本大震災以降、より一層その意識が高まり、“節電”という言葉がよく耳にするようになりました。

そこで今回は、夏の電力不足を乗り切るための節電対策を紹介します。

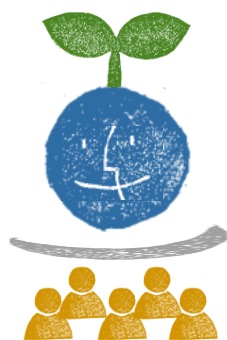
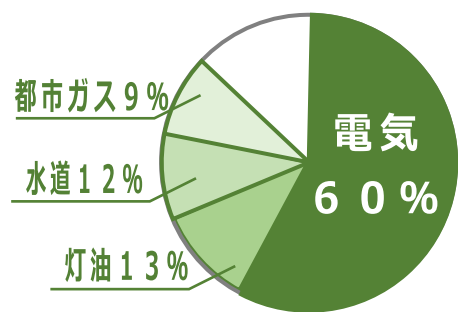
【詳しくは足立区公式HPへ】<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>

足立区では、年間25億3700万KWhの電力を消費しており、それに伴い、2423千tもの二酸化炭素が排出されています（2011年度）。

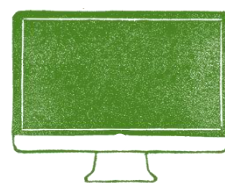
電気は昼夜問わず、とても身近な存在です。一般家庭で使われるエネルギーの内訳を見ると、電気が約60%と大半を占めています。私たちの生活がいかに電気に支えられているかを実感します。だからこそ、意識して節電に取り組まなければなりません。しかし、一人で節電をしても一日に削減できる電力量は限られています。無理に電気を使わない生活をして、続かないでしょう。「節電」は、みんなで協力して行うエコ活動なのです。

現在、足立区の総人口は、67万人以上に上ります。その内世帯数は、32万世帯強。ちりも積もれば山となるように、一家庭がちょっとの節電を毎日行えば、確実に電力の削減ができ、二酸化炭素の排出を抑えることができます。一人ひとりの力はとても小さいですが、足立区全体を見れば、大きな成果につながるはずです。

## 〈一般家庭で使われるエネルギー源の割合〉



## 〈家庭で出来るエコ活動〉



### 1日1時間、テレビの利用を減らそう

一度見だしたら、なんとなくだらだらと付けっ放しで見てしまいがち。計画的に見たい番組だけを厳選し、1時間利用を減らすだけで、1日約38gの二酸化炭素を削減できます。足立区全体では、約12tの削減につながります。

1世帯では、年間約14kgの二酸化炭素が削減可能。約800円の節約になります。



### 冷房の設定温度を1、2℃上げよう

気温の暑い日は、どうしても冷房の温度を下げってしまうもの。ですが、温度を2℃引き上げるだけで、1日約90gの二酸化炭素を削減できます。足立区全体だと、約29tの削減につながります（90g×32万世帯を単純計算）。

1世帯では、年間約33kgの二酸化炭素が削減可能。約1,800円の節約になります。



### 1日1時間、照明を使う時間を減らそう

ほんの短い時間だからと、つい照明を付けっ放しで部屋を離れることがよくあります。60Wの白熱球の付けっ放しを1日1時間やめると、約19gの二酸化炭素削減になります。足立区全体に換算すると、約6tの削減です。

1世帯では、年間約7kgの二酸化炭素が削減可能。約480円の節約になります。

## エネルギーの単位

よく聞けれど、意外と知らない電力単位の意味。普段使っている電力の量が、どのくらいの規模なのかを知れば、より一層身近に感じるはずです。

W (ワット)	1秒間に出すエネルギーの大きさ。
1Wh (ワットアワー)	1Wの電力を1時間使った時の電力量。
1kWh	1,000Wh

※1000gを1kgと表すように、大きい値はk(キロ)・M(メガ)、小さい値はm(ミリ)・μ(マイクロ)などを使います。

## 中央本町センターの エコ活動

足立区内の公共施設では、年間に7,000万kWh以上もの電力が消費されています。これは、日本人が一生で消費する電力の約109倍の量。だから、節電はとても重要なのです。センターでは、体育館や図書館フリースペースなどで照明の間引きを行っています。例えば、体育館の照明は1個あたり何Wかご存知ですか？

中央本町センターでは1個450～500W相当の照明を使用しています。一塊（4個）を1時間使用すると、家庭用電子レンジ4台を同時に1時間稼働しているようなもの。午前9時～午後9時30分の約12時間、学習室・体育館はほぼ不休で、電力が供給されています。電気には気を使っている中央本町ですが、これは皆様のご理解・ご協力があったること！

いつも、ありがとうございます。

